

24期生

こんにちは。私は2001年卒業生の団こと葉です。今は劇団四季で舞台俳優をしています。

高校卒業後、東京で2年間ミュージカルの基礎を学んだ後、劇団四季のオーディションに挑戦。100倍の競争率を勝ち抜いて研究生となり



24期生 団 こと葉

ました。しかしほとととする間もなく、事あるごとにランク分け・評価・試験があり、実際翌年に正式に入団できるのは半数にも満たない人数でした。

それらに何とか勝ち残り、今では6年目、やっと舞台俳優らしくなってきたように思います。いつでもこれで安泰などということは全くなく、新しい作品にキャストティングされても、実際に出演するまでには何人もの候補の中から勝ち抜かなくてはなりません。毎日が勝負。結果を出さなければ認められない。芸の世界は厳しいと痛感する日々です。

そんな毎日ですが、やはり舞台に立つことが何より幸せです。私にとっては毎日繰り返される舞台。

でもお客様にとっては一生に一回かもしれない舞台。慣れや情性でこなしでは感動は伝わらないし、私の評価もそれまでです。だから「二生に二度」の「毎日」に情熱と誠実さをこめて演じています。

高校時代は新体操部に所属していました。顧問の徳井先生やお世話になった先生方、そしてたくさんの友達と今でも連絡を取り合っており、滋賀に帰ってきた時には再会しています。

先生方や友達とは、私が京都の公演に出演すると応援に駆け付けてくれ、それが大きな励みになっています。



(只今ウエストサイド物語ア・タ役として出演中です。)

18期生

飛翔会のみなさまこんにちは。私は住み慣れた滋賀県を離れ一年がたちました。現在NHK岡山放送局で夕方方のニュース番組を担当しています。岡山県は「晴れの国・岡山」という県のキャッチフレーズがあるほど晴れの日が多く、災害の少ない土地です。桃やマスカットなどの産地として知られ、食の豊かな県です。また景色も最高！穏やかな瀬戸内海に浮かぶ夕日や県北部の蒜山に広がる緑鮮やかな高原などを楽しむことができます。NHK大津放送局で勤務していた時は、栗東の新幹線新駅問題やびわ湖の環境についての報道が多かったのですが、

NHK岡山放送局「ニュースコア6岡山」
ニュースキャスター 桑原 由紀

所変わればニュースも変わりますね。新しい土地での発見はこれまでとの比較でもあり、改めて故郷滋賀の良さを知るきっかけにもなりました。今では湖魚の味や比叡山の景色を懐かしく思います。

さて、ニュースキャスターという仕事柄、言葉について考える機会が多くあるのですが、岡山弁で私が当初戸惑った方言をいくつか紹介しましょう。みなさん「おえん」ってどういう意味かわかりますか？「おえん、おえん：オ・エン：応援？？」わからないです。すね。使い方の例としては、「そんなことしたらおえん。」これは「そんなことしたらダメ」という意味なんです。また「ほつけー」という言葉もあります。例えば「ほつけーうめえ。」という風に使います。これは「とてもおいしいですよ」という意味で、つまり「ほつけー」はveryの役割なんです。最近では、岡山県出身のお笑い芸人の千鳥さんや次長課長さんの影響で、テレビで「でーれー」とか「じやろー」といった岡山弁を耳にすることが多くあり、みなさんも知らず知らずのうちにお聞きになっているですよ！私もまだまだ関西弁と岡山弁のバイリンガルになるには程遠いですが、この穏やかな土地で2年目の春を謳歌しようと思っています。また皆さんにお会いできるのを楽しみにしております。

まだまだ「故郷に錦を飾る」と言える程ではありませんが、こうして舞台で活躍している姿を間近で見てもらえることが、今の私に出来る一番の恩返しだと思って頑張っています。

私をご存知の方、またそうでない方も、機会がありましたら是非劇場に足をお運び下さい！

29期生同窓会

私たち2006年度卒業生は1月14日の成人式の後に、琵琶湖ホテルで毎年恒例の同窓会を行いました。

400人以上いる卒業生のうち約300人が集まりました。

同窓会ではビンゴ大会があり、豪華な景品にみんな目を光らせていました。ビンゴ大会以外には何も出し物はなかったのですが、懐かしい友人や先生などとの会話をしているだけで、2時間という短い時間はあっという間に過ぎていきました。

笑顔の絶えない会場では、みんな楽しい時間を過ごせたと思います。

(代表幹事 玉木 裕)

